生活支援体制整備事業　第2層　『栗原市地域支え合い情報誌』
第16号
2022年３月１日 発行

今こそ地域支え合い!!

住み慣れた地域で元気で暮らしていくために

【編集・発行】　社会福祉法人栗原市社会福祉協議会　電話 0228-23-8070　FAX 0228-21-4774

仲間がいるから楽しく続けられる

健康のために
頑張っています

鶯沢
「細倉レクリエーションダンス愛好会」

週２回の練習を、みんなで楽しく続けて22年。
同じ趣味を持つ仲間が集まり、身体を動かすことで
介護予防や生きがいにつながっています。

会食及び集合写真については、マスクを外した上で撮影したものを掲載しております。

この「栗原市地域支え合い情報誌」は、これまで何気なく行われてきた地域の支え合い活動を紹介するとともに地域づくりにつなげていくものです。

築館地区

～ 支え合える地域づくりを目指して ～

見守り・安否確認　太田地区

地域の見守り訪問

トイレットペーパーとティッシュボックスを頂きました♪

12月12日（日）、高齢者世帯へ地区の役員を中心に、見守り訪問事業を行いました。新型コロナウイルスの影響で自粛が続く中での見守り訪問事業は、地区の住民とコミュニケーションを図る重要な機会と安否確認の場となっており、多くの方が心待ちにしておりました。

つながり・健康維持　黒瀬地区

黒瀬地区 くりはら元気アップ体操

毎週楽しくやっています♪

毎週水曜日、黒瀬自治会館で取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、健康維持と日々の楽しみのために活動を継続しています。

参加者の方にとって、週に一度、みんなで集まり、何気ない会話をすることが日々の楽しみになっています。

令和３年度 第１回地区推進会議

開催日：令和３年11月９日（火）

「地域支え合いづくりのために、今何ができるのか」をテーマに、コロナ禍でも出来る取り組みを継続していくには、どのような工夫が必要なのかグループワーク・情報共有を行いました。「新型コロナウイルスに関する正しい知識を身に付け、感染対策を行うこと」「地区のお茶っこ会を少人数で行うなどして、地域のつながりを切らさないようにする」など、たくさんの意見が出ました。
これからも、地域の住民がお互いに支え合える地域づくりを目指して、話し合いを重ねていきます。

若柳地区

～ 誰もがここで良かったと思える地区をめざして ～

支え合い

南二又地区

地区の安心・安全のために 南二又除雪協力隊が出動！

去年は２２回の出動があり、地域では
なくてはならない隊員です。

「今年は特に雪が多くて大変だよ～」

南二又地区では、雪が積もると生活道路の安全確保のため、早朝に南二又除雪協力隊が出動。平成27年に結成され、現在協力隊員は6名で、今年の年末年始の大雪では正月にも出動。

「何より地区民の安全が第一だから、家にある機材で、出来ることをやっているだけ」寒い季節に、お互い様の思いやる温かい気持ちに、南二又の雪どけはきっと早いですね♡

生きがい

生きがいと役割を持ち

「毎日仕事が忙しいです」そう語るのは、88歳のつるおさん。裁縫が好きで、若い頃から見よう見まねで続けて来ました。まだまだ現役、今は業者からの仕事を受け、楽しく何よりもの生きがいです。

仕事する時は、テレビも消して集中。集中すると一日があっという間です。

つながり

迫桜高校家庭クラブ

「シトラスリボン」でつながろう

コロナ禍で生まれた「シトラスリボンプロジェクト」。差別・偏見をなくし、感謝と思いやりを伝えたいと、迫桜高校家庭クラブが取り組みました。会えない中でも、心の交流で、暮らしやすい地域・社会をめざします。

水引には人と人を結びつける意味がこめられています。

令和３年度 第２回地区推進会議

協議体を設置から４年、経過・報告も兼ね、生活支援体制整備事業の役割の再確認をとして社協支部研修会と合同で開催しました。

若柳地区の地域福祉推進に長く指導を頂いている、前東北学院大学 特任教授の本間先生の講話もあり、「高齢者よ役割を持て」と題し、高齢者は社会の担い手として大きな財産である。また、「普段通りと気にかけるだけ、日頃の関わりで何もしなくてもいい見守り」が何より安心・安全につながりますとの内容で、今後迎える長寿社会との向き合い方のアドバイスを受けました。

開催日：令和３年12月22日(水)

「委員の皆さんこそ地域コーディネーターの一人です」と講師から期待の言葉が！新たな年に向かい、意欲が湧く機会となりました。

栗駒地区

～ いつまでも住み続けたい地域を目指して ～

つながり

～小さな集まりで育まれたつながり～

滝ノ原地区
大原水道組合

岩盤壁からの湧水を生活用水としてタンクに溜め、組合員で維持管理を行っています。また、季節に合わせた行事を年に数回取り入れながら親睦を図っています。80代90代の方も参加し自然の大切さを後世へと引き継ぐことで、小さな地域の小さなつながりが住民同士の大きな支え合いにつながっています。

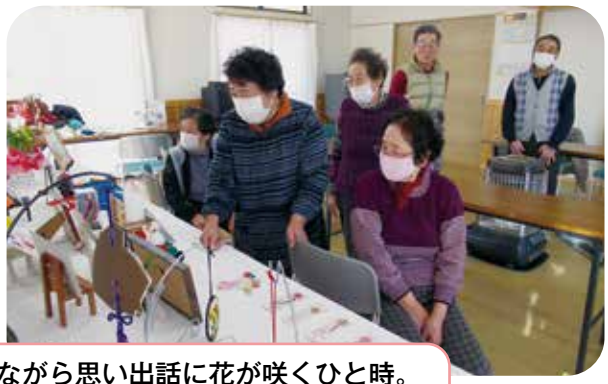
晴天に恵まれ賑やかに「餅つき大会」

生きがい

～定期的に集まることで支え合いの輪が広がります～

山口手芸の会

素敵な作品が揃いました！



作った作品を見ながら思い出話に花が咲くひと時。
この時間もつながりを深める大切な時間となります。

月に2回くりはら元気アップ体操に取り組み、体操の後は物づくりやレクリエーションで楽しみます。会員同士、アイデアを出し合い一緒に楽しむことが元気の源！この集まりが住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けるための大切な宝物です。

つながり・健康維持

～笑い合って地域のつながり作り～

鳥沢南地区
社会福祉協議会

「高得点狙って、それ!!」

住民同士の交流の場を大切に活動しています。この日は、レクリエーションで体を動かしました。顔なじみで集まれば楽しさも倍増！たわいもない話語りも元気の源となり明日への活力につながりますね。

「いっぱい笑って元気を蓄えました」

高清水地区

～ ここで良かったと思える地域に ～

生きがい・つながり

ラージボール「みずき会」

いつも笑顔があふれています

毎週水曜日にラージボール卓球を行っています。長年続いている団体で、最高齢の９１歳女性は結成当初からのメンバーです。年齢関係なく、みんなで楽しめる活動が長続きの秘訣。笑い声が絶えないこの場所は、みんなの生きがいとなっています。

琴高会（きんこうかい）

みんなと一緒に楽しく演奏

平成２０年から活動を行っており、現在の会員は１１名。第２、第４金曜日の月２回集まり、練習するのが楽しみになっています。

ボランティア慰問も行い、自分たちのために日々活動を続けています！

久しぶりの慰問で緊張…。発表の場はみんなのやりがいにもつながっています。

令和３年度 第2回地区推進会議

開催日：令和３年11月５日（金）

「高清水で暮らし続けるために」をテーマに、過去に話し合いを行った内容を基にして、災害時に地域で出来ること・備えたいことについて、話し合いを行いました。地区内での災害時の情報共有、避難時の高齢者等への支援の仕方や役割分担など、今後は地区役員や住民との話し合いが、今以上に必要になってくるとの意見が出されました。

一迫地区

～ 助け合い・支え合いの地域を目指して ～

交流・健康維持

姫松地区老人クラブ「長生会」

つながりを大事に !!

本沢・一本松・片子沢の３地区合同老人クラブ「長生会」のスポーツ大会が開催されました。企画・運営等会員同士協力し合いながらボッチャに挑戦。真剣に、時に笑いありと楽しみながら競技に取り組みました。地区を越えた住民との交流の場となり、つながりが生まれました。

スポーツを通じ、つながりづくり !!

伝統行事

高橋下地区 生け花教室

お花で心を豊かに

日本の伝統行事、きれいなお花とともに新年を迎える準備として、生け花教室を開催。講師の先生から基本ルールを学び、お正月らしい華やかなアレンジメントににっこり。

伝統行事を守り、お花でつながる地域の輪が出来ました。

令和３年度 第2回地区推進会議

開催日：令和３年12月７日（火）

栗原市一迫ふれあいホールにおいて、認知症について正しく理解を深め、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりの推進を目的に、栗原市社会福祉協議会一迫支部と合同開催しました。

栗原市一迫・花山地域包括支援センターの小野寺まゆみ所長と後藤裕美管理者より「誰もが安心して暮らせる地域を目指して～認知症について学ぶ～」について講話をいただきました。

次に、生活支援コーディネーターより「地域支え合い推進会議（第２層協議体）の取り組みと生活支援コーディネーターが見つけたお宝紹介」の発表をしました。

研修を通じ、認知症について、改めて学ぶ機会となりました。

瀬峰地区

～ みんなの願いをかたちに ～

交流・つながり

地域とつながる　笑顔をつなぐ

介護老人保健施設せみねの丘
地域連携室

ボッチャ体験

健康セミナー(体組成チェック)

中庭に手作りのピザ窯を設置
炊き出しにも利用できるかも

ピザ作り体験

令和2年秋に開業した介護老人保健施設。地域住民とのつながりづくりに日曜限定で交流事業のためのスペースを開放し、地区行事の企画も一緒に進めています。健康セミナーやボッチャ体験などは参加者も多く、会話と笑顔が増えて地区内のつながりも広がりました。今後も継続することで地域と施設が身近なものとなり、より良い地域づくりにつながります。

見守り・つながり

見守り合い　支え合う地域の力

宮小路原地区見守り協力隊

「互いに見守り合って安心な暮らしを」、いざという時に助け合えるように自主防災会では見守り協力隊を結成しました。歳末の見守り訪問では、ひとり暮らし高齢者などのお宅を伺いました。協力隊には地域を良く知っているひとり暮らし高齢者の方もおり、見守られる対象者であっても見守る立場で地域のために活動しています。お互い様の気持ちが支え合う地域の力になっていると感じました。

令和３年度 第１回・第２回地区推進会議

開催日：第１回 令和３年７月30日（金）
第２回 令和３年11月４日（木）

「地域のつながり」をテーマに話し合いを行いました。第１回は「災害時のつながり」、「平時のつながり」等の意見があり、その内容を基に、第２回には「災害時の地域のつながり」について話し合いました。災害時の情報共有や避難所開設時の支援、役割等、みんなが災害について正しく理解する事、地域住民との情報共有、話し合いが必要である等の意見がありました。これからもより良い地域づくりのために話し合いを続けていきます。

鶯沢地区

～ 支え合う地域づくりを目指して ～

安否確認・介護予防

～いつも一緒に～

秋法下地区　市川さんと千葉さん

気心の知れたご近所さんはお互い一人暮らし。毎日のように顔を合わせ、足腰が弱らないように散歩をしたり、話し語りをしながら楽しくお茶のみをしています。「くよくよせず、仲間と一緒に笑うことが一番の長生きの秘訣」と話す二人の笑顔は、とても素敵に輝いています。

交流・介護予防

～笑顔が弾ける集いの場～

日向老人クラブ長寿会

入れ入れ！もう少し！

交流と親睦、健康づくりを目的とした「スカットボール大会」を２日間に渡って開催。久しぶりの集まりに心も体もリフレッシュされ、「楽しいね！やっと集まれたね～！」など、会場には多くの会員の賑やかな笑い声が響いていました。

交流・伝承

～地域でつなげる伝統行事～

八沢地区自治会

地区の神社のしめ縄作り。男同士の話し語りで盛り上がり、笑顔の中、難しい作業も手際よく行いました。若い人へ伝承する場となり、昔からの伝統行事が人と人をつなぎ、地域のつながりとなっています。

３人の呼吸を合わせることが大切なんだよ！

金成地区

～ お互い気に掛けあい 安心して暮らせる地域に ～

交流　梨崎下沢辺地区 菅原さん&畑２地区 後藤さん

～笑顔がつながる 幸せのリレー～

社協に寄贈された後藤さんの木工細工を通じて、40年振りに再会し交流を図ったお二人。実は若い頃、後藤さんと菅原さんの奥さんは同じ職場で働いており、車での送迎や、菅原ご夫妻のお子さんの子守りを手伝い、一緒に食卓を囲む仲でした。

後藤さんは特技の木工作りで人の役に立ち、アイデア豊富な菅原さんはそれを用いて地区行事でくじ引き大会を開催し、地域の方と楽しい時間を過ごしました。小さなきっかけで、心温まる暮らしの輪が広がりました。

後藤さん（写真左）と菅原ご夫妻（写真中央･右）

社会参加　末野地区 千田さん

～元気の秘訣は愛（いと）おしい暮らし～

旦那さんとの共通の趣味が、夫婦円満の秘訣です♥

89歳の千田さん。

20年以上、地元の直売所で餅作りをしています。幼い頃、祖母の手伝いで身に付いた餅作りが今は特技となりました。

趣味のゲートボールでは、同い年の旦那さんと一緒に体を動かすのが楽しみです。

家族や仲間の支えに感謝し、愛（いと）おしい暮らしを過ごすことが健康へつながっています！

令和３年度 第2回地区推進会議

開催日：令和３年11月30日（火）

「ふれあいのまち金成でみつけた地域の宝もの～小さな支え合い・大きなつながり～」をテーマに、日頃感じている「小さな支え合い」や「いいなぁと思った取り組み」を発表いただき情報共有を図りました。

また、協議体メンバーと地域住民が新たに交流を図った事例を紹介し、日頃の何気ない活動が地域や住民同士の支え合いにつながっていることを改めて認識する機会となりました。

有壁地域おこし協力隊の方が見学。（写真右2名）若い方や移住者の方とも関わりを持ちました。

交流①
沢辺佐藤新聞店＆高齢者生きがい活動の皆さん

交流②
ケアスタ中町＆中町長寿会（老人クラブ）の皆さん

志波姫地区

～ お互いに力を合わせ地域の支え合い ～

健康維持・生きがい

大平区

集う場が健康づくりに

　コロナ禍だからこそ、「自分達で出来ることを行おう」、と昨年５月より、くりはら元気アップ体操に取り組んでいます。足腰が痛く会場まで車で参加していた方も身体の動きがスムーズになり、今では徒歩で参加しています。
　参加することにより、健康維持になり、情報交換の場にもつながっています。

つながり・見守り

伊藤さんと仲間たち

仲間とのつながりを大切に

　一人暮らしの佐々木さんの見守りを兼ねて伊藤さんの一声で地区内の仲間が集合。暦の行事に合わせて、今回はお雛さまをみんなで飾り、茶道をしながら交流を楽しんでいます。
　コロナ禍でお茶っこ会等が出来ない中で、小さな集まりが、情報交換の場になり、お互いの支え合いになっています。

健康維持・楽しみ

元気に過ごす瀬川さん

自分のために頑張れる

　一人暮らしの瀬川さん。2月で95歳になりました。普段から大好きな川柳や短歌を書いたり、観葉植物を育てたりと身の回りのことは自分で行っています。正月からの積雪にも負けず、訪ねてくる方のためにと自ら雪かきに励んでいます。近所の友人や地域の役員さんが訪問してくれることに感謝し、日頃から健康維持に努めています。

花山地区

～「暮らし続けたい」という願いをかなえるために～

情報交換・交流

久しぶりの集まりに和気あいあい♪

山内地区社会福祉協議会

築館警察署花山駐在所伊藤所長より交通安全、特殊詐欺についての講話をいただきました。

実際に起こった事例等を交えた説明に、住民同士「詐欺被害に遭わないように、お互いに気をつけよう！」と、日頃から地域でのつながりを持つことの大切さに、改めて気付くことが出来ました。

スカットボールで運動不足の解消も出来ました!!

健康維持・楽しみ

毎週2回の楽しみが元気の秘訣！

花山ペタンク愛好会

みんなとお茶を飲むことも楽しみのひとつです♪

毎週水・土曜日に活動しており、最高齢の方は94歳の男性で元気に参加しています。

普段は、ミズバショウ公園で行っていますが、12月からは雪が降っても続けられるようにと集会所で活動しています。週に2回の集まりを楽しみにし、仲間と顔を合わせ一緒に活動することで、楽しく健康・体力維持に努めることが出来ています。

令和３年度 第２回地区推進会議

開催日：令和３年12月９日（木）

栗原市社会福祉協議会花山支部と生活支援体制整備事業について情報共有を図るため合同開催しました。普段、何気なく行っているちょっとしたお手伝いやお茶飲み、散歩などが地域資源（お宝）であり、介護予防等につながっていること。また、お互いに気にかけ合う関係づくりと、今あるつながりを続けていくことが大切であることを、改めて知る機会となりました。

誰もが住み慣れた地域で元気に暮らしていけるように、今後も話し合いを続けてまいります。

栗原市地域支え合い地区推進会議構成員の皆さんに聞きました!!

生活支援体制整備事業第２層運営等業務を受託している栗原市社会福祉協議会では、住民主体の「地域が元気になるための話し合いの場」として、栗原市地域支え合い地区推進会議（第2層協議体）を１０地区すべてに設置しています。会議では地域の様々な関係機関が構成員となり、自分たちの活動や今後無理なく出来ること、地域にある支え合いの活動の情報共有などを行っています。

質問項目

所属団体
お名前
Ｑ１．地区推進会議の様子
Ｑ２．コロナ禍でどうつながっていくべきか
Ｑ３．今後について

志波姫地区

有限会社 相馬食品

相馬孝貴さん

Ｑ１ 様々な団体の活動や地域の取り組みをお聞きし、自分の団体で取組んでいることの必要性もより深く考えさせていただいています。

Ｑ２ 顔と顔を合わせたお付き合いが難しい中、我々はお弁当の配達を通じ、高齢者の方々にお会い出来るので、自宅に居ても孤独感を感じないように声がけし、働きかけをしていきたいと思っています。

Ｑ３ 地域で暮らす皆さんが安心して生活を送れるような支え・支えられる環境づくりを話し合っていきたいです。

築館地区

医療法人社団畑山医院 介護老人保健施設 高森ロマンホーム

蓮沼隆行さん

Ｑ１ 様々な立場の方々が集まり、和気あいあいと活発に意見を出し合い、とてもいい雰囲気の会議となっております。

Ｑ２ 地域の方々には福祉サービスを利用して元気になっていただき、これまで同様地域とのつながりを持っていただけるようにと思います。

Ｑ３ 若い世代の方々も自然と活動ができるような取り組みを発信出来ればと思います。

花山地区

花山地区婦人会

及川喜留子さん

Ｑ１ 構成員同士、顔なじみであり日頃からのつながりもあるため、連携しやすく、気兼ねなく話し合うことが出来ています。

Ｑ２ コロナ禍だからと諦めず、従来のやり方にこだわらないで、工夫してつながりを持っていきたいと思います。

Ｑ３ これからも各団体と連携を図りながら、より良い地域づくりを目指してまいりたいと思います。

生活支援コーディネーターから

これからも地域にある支え合いやつながりを発掘し、より良い地域づくりのために、情報共有・発信に努め、協議体の運営支援を行っていきます。

編集・発行／社会福祉法人栗原市社会福祉協議会

築館支所	TEL23-8087	若柳支所	TEL32-3083
栗駒支所	TEL45-2150	高清水支所	TEL58-3637
一迫支所	TEL52-4433	瀬峰支所	TEL59-2322
鶯沢支所	TEL55-2834	金成支所	TEL42-1248
志波姫支所	TEL22-2713	花山支所	TEL56-2028

ホームページアドレス
http://kurihara-sfk.jp/

← モバイル版はこちら!!
バーコードリーダーで読み取り。モバイルサイトにアクセス!